

総合整備計画書

山口県周防大島町浮島辺地
(人口209人・面積2.78km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

周防大島町大字浮島

字 横谷、横谷東、屋玄、屋玄西、貝ヶ久保、楽ノ江、楽ノ江小浦、見壁、戸井出、江ノ浦、江向、黒岩、桜、桜村、寺屋敷、鹿モメ、小樽見、小柳、上ノ山、水尻、水尻上、杉尾、西本谷、先楽ノ江、先黒岩、先中浦、先立目、浅谷、前黒岩、噌入道、大影、大樽見、大畑、大畑西、大柳、辰、樽見西、樽見東、中磯、中浦、田布、東本浦、頭島、内ヶ久保、念佛、樋ノ口、本浦、本浦奥、本谷、末木、明神後、門前、柳、立岩南、立岩北、立石、立目、立目久保、櫻

(2) 辺地の中心の位置 周防大島町大字浮島字田布494番地1

(3) 辺地度数 245点

2 公共的施設の整備を必要とする理由

- ・浮島は、橘地区の北方約5kmの瀬戸内海上にあり、樽見、楽ノ江、江ノ浦の3集落がある。島内では定期航路(町営渡船)を利用するか、山間を通る町道等を自家用車で移動しなければならない。主要産業は沿岸漁業、水産物加工が主体であるが、輸入水産物の増加による魚価の低迷や食生活の変化に伴う消費量の減少、燃料費の高騰、就業者の高齢化と後継者不足等により、経営は不安定な状況にある。文教施設は、小学校があるが屋内運動場は整備されていない。保育所、中学校、高等学校はなく本島に通学している。医療施設はなく、救急患者は地区自治会との委託契約による地元漁船等とヘリコプターで対応する必要がある。離島であり辺地である浮島は、様々な面で厳しい条件下におかれている状況と言える。
- ・島内のライフラインのうち水道施設については、江ノ浦簡易水道事業により、地下水を水源とし島内の樽見・楽ノ江地区と江ノ浦地区の各配水池まで汲み上げ各戸へ配水しているが、渇水期における取水量の低下や塩化物イオン濃度の上昇による水質の悪化等により水不足が慢性化しており、安定的な供給を図ることが望まれてきた。
安全な水の安定的な供給を図るため、海底送水管と配水池を新設し、大島本島の東和第1配水池の配水管に接続する事業を平成28年度から展開しており、令和2年度の完成を目指している。
- ・下水道施設については、樽見、楽ノ江、江ノ浦の3集落を処理区として漁業集落排水事業を実施しているが、機械設備の耐用年数を迎える等、経年劣化による機能低下等も進んでおり、快適な住環境の整備と水質汚濁の防止のため、今後、計画的に更新を行っていく必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和2年度から令和6年度まで（5年間）

（単位：千円）

施設名	区分 事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源等の内、 辺地対策事業債 予 定 額
			特定財源	一般財源等	
江ノ浦簡易 水道施設	周防大島町	42,225	18,500	23,725	10,600
漁業集落排 水施設	周防大島町	169,037	84,518	84,519	84,500
合 計		211,262	103,018	108,244	95,100